

町から出される「警戒レベル」を確認しましょう

住民の皆さまが避難に関する情報を直感的に理解できるよう、昨年から防災情報を5段階の警戒レベルにより提供しています。警戒レベルの意味を改めて確認し、取るべき行動を確認しましょう。

危険な場所から警戒レベル3で〈高齢者等は避難〉、警戒レベル4で〈全員避難※1〉です。

※1 警戒レベル4「全員避難」は、危険な場所にいる方が高齢者等に限らず全員が避難するタイミングです。



警戒レベル4には避難勧告や避難指示(緊急)※2がありますが、警戒レベル4で避難しましょう。

○警戒レベル4「避難勧告」は立ち退き避難に必要な時間や日没時間などを考慮して発令されるもので、このタイミングで危険な場所から避難する必要があります。

※2 警戒レベル4「避難指示(緊急)」は、必ず発令されるものではなく、地域の状況に応じて緊急的または重ねて避難を促す場合などに発令されることがあるものです。

警戒レベル5はすでに災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとってください。

○警戒レベル5「災害発生情報」が出ても、まだ避難できていない場合は、自宅の少しでも安全な部屋に移動したり、すぐ近くに安全な建物があればそこに避難するなど、命を守るための最善の行動をとってください。

○警戒レベル5「災害発生情報」は、町が災害発生を把握できた場合に、可能な範囲で出される情報であり、必ず出される情報ではありません。

豪雨時の屋外避難は危険です。車の移動も控えましょう。

○外へ出ることが危険な場合は建物の2階以上へ行くなどの行動をとってください。

○町からの情報がなくても早めの自主避難を検討してください。

町が出す「警戒レベル3」「警戒レベル4」で確実に避難しましょう。気象庁などから出る雨の情報を参考に自主的に早めの避難をしましょう。

避難行動判定フロー図

台風や豪雨時に、あなたがとるべき避難行動を確認してみましょう!



○警戒レベル3や4が出たら、危険な場所から親戚や友人宅など安全な場所へ避難しましょう。

○「避難」とは「難」を「避」けることです。安全な場所にいる人は、避難場所に行く必要はありません。

○避難先は小中学校・公民館等ではありません。安全な親戚・知人宅に避難することも考えてみましょう。

※緊急時に身を寄せる避難先は、町が指定する「指定緊急避難場所」や、安全な親戚・知人宅などさまざまです。普段からどこに避難するかを決めておきましょう。
※「指定緊急避難場所」は、災害の種類(土砂災害、地震など)によって安全な場所が指定されています。(小中学校、公民館など)
※災害が落ち着いた後に、自宅が被災し、帰宅できない場合には、しばらく避難生活を送るため、「指定避難所」に行きましょう。